

2021年2月5日

読売テレビ新社屋がコージェネ大賞特別賞受賞

コージェネ大賞は、コージェネ(*1)の社会的認知や普及促進を図るため、新規性・先導性・新規技術および省エネルギー性などにおいて優れたコージェネを一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター(コージェネ財団)が毎年表彰するものです。

2020年度は応募のあった32件の中から、民生用部門7件、産業用部門6件、技術開発部門3件の合計16件が受賞し、そのうち「環境性能とBCPを両立した関西エリア初の放送局向け停電対応コージェネの導入～読売テレビ新社屋への導入事例～」が民生用部門の特別賞を受賞しました。



読売テレビ新社屋のコージェネ



ガスエンジン(コージェネの心臓部)

2月5日にオンラインで表彰式が行われ、今回の受賞理由について以下の通り評価されました。

「放送局は放送設備への電源供給技術条件が厳しい上に、熱電比(*2)も低いいため適切な容量のコージェネが選定できないことから、停電対応コージェネの導入は進んでこなかった。そこで、コージェネの排熱を有効活用できる熱源システムを導入することで、排熱利用可能量を増やし熱電比を向上させた。さらに建物全体のBCP性能を上げるため、非常時の電源供給として停電対応コージェネを活用している」

読売テレビ新社屋では、本コージェネの活用により、停電時の電力確保によるBCPの向上のみならず、電力需要が逼迫した際に電力会社からのピークカット要請に協力することや、省エネ、省CO₂により、社会貢献に寄与していく所存です。

***1「コージェネ(コージェネレーション・システム)」**

燃料である都市ガス等を燃焼させて発電するとともに、その際に発生する熱を冷暖房や給湯などの用途に有効利用し、コストダウンと共に省エネ・省CO₂に有効なシステムです。

***2「熱電比」**

建物で必要となる熱量を電力量で割った値。一般的にはオフィスビルは低く、ホテルや病院などは高い傾向を示します。

